



谷口芳憲 区長

平成18年4月、西区長に就任。趣味は旅行、ウォーキング、スポーツ観戦。

谷口 皆さん、日ごろの生活の中で起きていることを自分のこととして身近にとらえて、解決しようとしていることを感じました。

**環境活動は自分ができることを確実に継続していくことが大切(谷口)**

谷口 西区では、アダプト・プログラムのによる道路・公園の美化活動や、琴似発寒川の春と秋の清掃、春の稚魚放流のほか、夏至の時期はキャンドルナイト、冬はアイスキャンドル作りなど、多くの皆さんが活動しています。

また、「さつぽろエコライフ10万人宣言」では西区の宣言者が2万人を超え、10区のトップです。中でも子どもたちは約8千3百人で西区は断然トップです。西区の方は環境への意識が高いと思います。

環境問題は、大人も子どもも自分ができることを確実に継続していくことが大切で、一つ一つの小さな成果が大ききな成果に結び付くと思いますので、皆さんがこれから成長していく中で、いろんな環境活動へ関心を持ち、やっていただければと思っております。

**ごみをリサイクルして地球温暖化を防ごう(斉藤)**

谷口 「こども環境活動発表会」(12月8日開催済み)に向けて絵本のまとめを進めているのですが、読む人にどんなことを伝えたいですか。

水口 ごみ問題が深刻なので、ごみをできるだけ出さないように工夫してほしいなあというところですね。

谷口 ごみを出さない工夫をする、ごみを処理する経費も労力も電力も減り、環境に良いと思います。

斉藤 地球温暖化を防ぐために、みんなでごみをリサイクルする方法を考えてほしいです。

谷口 また使うとか、再利用を含めて、ごみにならないように循環型で取り組みを進めることは大事です。

小島 最後まで使えるものは最後までちゃんと使ってほしいです。

谷口 何でも壊れたから、汚れたから捨てるのではなくて、修理したり洗ったり、一つのものができるだけ長く使っていく気持ちも大事だと思います。

この先、子どもたちのアイデアが具体的に絵本になっていきますが、宮本さんはどんな絵本に仕上がればいいかなと思いますか。

宮本 子どもたちが作るものだから、子どもたちでも分かる、分かりやすいエコライフのガイドブック、手引書になってもらえればいいと思います。その中でも、大人が読んでもはっと気付かされるような本になればいいなと思います。



宮本英樹さん

NPO法人ねおす専務理事。子どもたちに「あもん先生」と親しまれる。

谷口 これまで皆さんがやってきたことを通して、こうしたいなあと思っていることを教えてください。

水口 私たちと同じぐらいの子どもたちに、面白い「さんかくやまべエ」を見てもらい、物と自然の大切さを、子どもたちだけでなく西区の人たちに知ってほしいです。この本を読んでごみを減らす工夫を考えてほしいと思います。

斉藤 これをきっかけに、エコキャラクター「さんかくやまべエ」を覚えてもらって、ごみを分別してリサイクルしてほしいと思います。

小島 大人から子どもまで、

**大人から子どもまでみんなに読んでほしい(小島)**

環境のことがいろいろと分かると思うので、みんなに読んでほしいです。

宮本 彼らが出会った自然とかエコライフの達人たちも、「さんかくやまべエ」と一緒に出てくると思いますので、読んでいる方々にも一緒に気持ちで追体験してもらえればと思います。

谷口 絵本の完成が大変楽しみですし、ぜひ多くの方にご覧いただき、環境問題への取り組みを始めていただくきっかけとなれば、大変ありがたいと思います。

本当に今日はありがとうございました。



12月8日の「こども環境活動発表会」の様子

「さんかくやまべエ」の絵本は、3月ごろに、区内の各小学校に配布するほか、西区役所、区内各まちづくりセンターでご覧いただける予定です(お問い合わせ) 西区地域振興課Tel(641)2400内線238

この座談会の一部を1月7日(月)午前11時から「西区情報プラザ」(三角山放送局FM76.2MHz)で放送します。